

(一財)全国地域情報化推進協会 御中		報告日	令和4年6月2日
送信先: report@r-ict-advisor.jp		派遣決定番号	
		報告回数	2日目
<b>令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書</b>			

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報  
1-1. 申請団体

団体名	大和村	代表者名	伊集院 幼
担当者部署	総務課	連絡先電話番号	0997-57-2111
担当者役職	主査	担当者氏名	納 孝行
住所	894-3192 鹿児島県大和村大和浜100		

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望  
支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	勝 眞一郎
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	DX初心者である役所に対し、何からデジタル化に取り組んで行くべきか、どのように取り組むべきかが非常に理解しやすく説明をしていただき、DXという言葉に苦手意識を持っていた職員の意識改革が促された。
アドバイザーへの要望事項	今後も段階的にフォローアップをしていただき、進むべき方向性をご指導頂きたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1.	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	期日・支援内容の変更あり		
対応日・時間	令和4年5月16日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
			13時30分	15時00分	
				活動時間(分)	90
3-2.	会場名	大和村役場第一会議室	最寄駅	無	
派遣場所	所在地	鹿児島県大島郡大和村大和浜100番地	最寄駅からの交通手段	無	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可  
<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可  掲載可

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	25人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	本事業に対する課題・問題点等はございません。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	DXの基本を学び、職員自らがデジタル化による業務の効率化や住民サービスの向上を考えるようになってもらいたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在のDX化の流れ</li> <li>国の動向</li> <li>県の動向</li> <li>基礎自治体として、取り組むべきDX化</li> <li>DX化への基本姿勢</li> <li>何から具体的に取り組むべきか</li> </ul>	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員にDXに対する知見不足から来る初期的な拒否反応を取り除くことが出来たと思われる。</li> <li>各課でDX化に関する取組を実行することとなった。</li> <li>具体的なDX化の協議がスタートした。</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特に無し。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は、本村で初めてのDX研修であり、不必要なプレッシャーを与えないため、アンケート調査までは実施していない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	全国的なDX化の潮流に乗り遅れず、時代に適した住民サービスの向上が図られる基礎自治体	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

